

“源溪山だより”

<https://chouanji.p-kit.com/>

令和5年6月②

住職 恩田仁志 gen-chouanji@aka2.gmob.jp



◆けちみゃく（血脈）は仏弟子の証

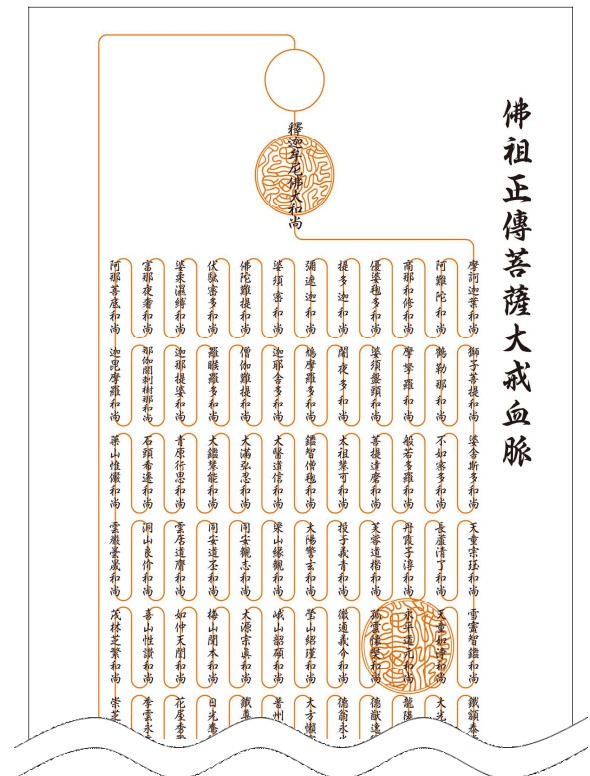


「お釈迦様の弟子として、仏法僧の教えを守り、清らかな心を保ち精進します」と約束をして、戒を授かる時、その証として、戒名と血脈(けちみゃく)を授かります。

現在、そのほとんどはご葬儀の時に亡き人に対してとなります。生前授戒を受ける方は、その際に授与されます。

血脈とは大きな紙にお釈迦様から始まり、インド、中国、日本と、二千五百数十年に亘り、弟子から弟子へと仏法を受け継いできた祖師の名前が列記されたものです。その名前は血を意味する一本の朱い線あかで繋がれています。

長安寺の血脈は、次のようになっています。



釈迦牟尼仏 → (あいだに27人) → 菩提達磨大和尚(ここのま^{だるま}でインドの祖師) → 大祖慧可大和尚
 (ここから中国の祖師) → (あいだに20人) → 天童如浄大和尚(ここのまで中国の祖師) → 永平道元大和尚
 (大本山 永平寺開山・ここから日本) → (あいだに2人) → 瑩山紹瑾大和尚(大本山 總持寺開山) →
 (あいだに6人) → 崇芝性岱大和尚(長安寺本寺 文殊寺開山) → 季雲永岳大和尚(文殊寺2世・長安寺
 開山) → (あいだに20人) → 祖学肇堂大和尚 → 仁志和尚(現住職)

ご葬儀にあたり、故人の戒名を現住職の次^{あか}に書き加えます。お釈迦様の教えが途切れること無く、亡き人まで伝えられた証明です。朱い線はそこで途切れること無く、ぐるりと回ってお釈迦様のところへ繋がっています。

右上が血脈そのもの。左上は血脈を10cm角に折り畳んだものを入れた包みの姿です。